

日本社会科教育学会

第67回全国研究大会（千葉大会）のご案内（1次案内）

日本社会科教育学会会長 森茂岳雄
全国研究大会実行委員長 竹内裕一

日本に社会科が成立して70年になります。社会科は、第2次世界大戦という悲惨な体験を経て、「青少年に真実な知識を与え、彼らを偏見から解放し、また将来民主主義社会の一員として生きる道を発見させること」（『学習指導要領社会科編（1）試案』1947）を目標としてきました。

しかし、70年たった21世紀の現在、社会科が目指してきた民主主義社会が大きく揺れ動いています。例えば、イギリスのEU離脱やトランプアメリカ合衆国大統領の誕生などの出来事は、国民投票や直接選挙というもっとも民意を反映させることができる民主主義のシステムが、使い方次第で機能不全を起こしているとの指摘もあります。しかも、そこで語られた言説は、移民を受け入れることによる社会的負担増に対する不平等やイスラム教における女性の権利の制限に対する批判に見られるように、「自由」や「平等」といった民主主義を構成する原理に基づいているともいえます。こうした動きは、何もイギリスやアメリカに限ったことではありません。グローバル化が進展する中で、世界各国においてポピュリズム政党の勢力伸張が伝えられています。第2次世界大戦後、世界は民主主義という基本原理を共有しながら、統合、共存、融和の道を歩んできました。しかし一方で、グローバル化の進展が著しい現代社会では、分断と排除、不寛容が加速していることも事実です。

日本社会科教育学会第67回全国研究大会では「改めてグローバル化と社会科を考える」を大会テーマに設定し、グローバル化が新たな次元で進展する現代社会において、子どもたちを成熟した民主主義社会の構成者として育てていくために、社会科はどうあるべきかを考えていきたいと思っております。ご参会の皆様方の闊達な議論をお願い申し上げます。

1. **大会主題** 改めてグローバル化と社会科を考える
2. **期 日** 2017（平成29）年9月16日（土）・17日（日） ※関連行事は15日（金）
3. **会 場** 千葉大学総合校舎（西千葉キャンパス 〒263-8522 千葉市稲毛区弥生町1-33）
4. **主 催** 日本社会科教育学会 日本教育大学協会全国社会科部門
5. **後 援** 千葉県教育委員会 千葉市教育委員会
6. **日 程**

第1日目 9月16日（土）

8:30	9:30	12:00	13:30	16:00	16:10	17:10	17:30	19:30
受付	自由研究発表Ⅰ	昼食 評議員会	シンポジウム			総会	移動	懇親会 (大学生協)

第2日目 9月17日（日）

8:30	9:00	12:00	13:00	15:30
受付	自由研究発表Ⅱ	昼食	課題研究発表	

7. 関連行事

公開授業	2017（平成 29）年 9 月 15 日（金）
会場	千葉大学教育学部附属中学校（〒 263-8522 千葉市稲毛区弥生町 1-33）
内容	一人一台タブレットを活用した社会科授業 中学校 3 年生公民的分野（予定）
受付	12:30 ～ 13:05
授業	13:10 ～ 14:00
研究協議会	14:10 ～ 15:10

8. シンポジウム

テーマ グローバル化の進展の中で社会科を考える

[趣旨]

2016 年に、世界を驚かせた二つの国民投票・選挙がありました。一つは英国の EU 離脱（ブレグジット）を問う国民投票で離脱賛成票が過半数を占めたことです。もう一つは、アメリカ大統領選挙におけるトランプ氏の勝利です。どちらも開票前の予想を大きく覆す結果となりましたが、どちらもグローバル化の進展に逆行する方向性を、それぞれの国民が選択したこととして注目されます。「グローバル化」という言葉は、20 世紀末から使用されるようになった言葉ですが、「地球規模での一体化」、「国民国家の枠を越える」、「ヒト、モノ、カネ、情報などの地球規模での移動」など、地球規模での、政治的、経済的、文化的などの様々な社会変動を意味しています。しかし、グローバル化は地球規模や国際社会の枠組みに影響を与えるのみならず、一国内の政治、経済、文化などにも大きな影響を与えています。上記の二つの国民投票・選挙の結果はその現れともいえます。

本シンポジウムでは、グローバル化の進展の中で「国家」を、「反グローバル化」の兆しが見える中で「世界」を考えるとともに、そのような情勢の中で社会科はどのような教科であれば良いか、そこでどのような人材を育成していけば良いかを探ります。

コーディネーター	梅津正美（鳴門教育大学）	戸田善治（千葉大学）
シンポジスト	蓮見二郎（九州大学）	
	華井和代（東京大学）	
	宮本英征（広島大学附属中高校）	
	桐谷正信（埼玉大学）	

9. 課題研究

I 小・中・高で社会的な見方・考え方をどのように育てるか

コーディネーター	西村公孝（鳴門教育大学）	桑原敏典（岡山大学）
----------	--------------	------------

[趣旨]

新しい学習指導要領が小中学校において改訂され、三つの柱の学力を重視する「主体的・対話的な深い学び」が重視されています。社会認識形成に関わる学習内容の定着とともに、社会的な事象に関する見方・考え方の育成は、長年、社会系教科の授業研究課題となってきました。また、18 歳選挙権時代が現実となり、小・中・高における主権者教育の課題としても社会的な見方・考え方の育成は、最重要課題となってきました。本課題研究では、小・中・高の実践提案から議論を深めていきたいと思ひます。

II 社会科教育はメディア・リテラシーをどう捉え、育てるのか

—ソーシャルネットワークサービス（SNS） /

モノのインターネット（IoT）時代における ICT 活用—

コーディネーター 川崎 誠司（東京学芸大学） 佐藤 公（明治学院大学）

[趣旨]

情報化の進展は、ヒト・モノ・コトのつながりを変えてきました。SNS は情報インフラとして活用場面が拡大し、IoT は人間活動の最適化に役立てられています。捉えるべき社会の姿は変貌を続け、来るべき社会の展望は難しい現状において、これからの社会科教育は、情報を読み解く力であるメディア・リテラシーをどう捉え、育てていけばよいのでしょうか。本課題研究では、情報社会の現状理解を出発点に、社会科教育で扱うべきメディア・リテラシー像とその実践のあり方について議論を深めます。

III 社会科の学習とカリキュラム・マネジメント

コーディネーター 溜池善裕（宇都宮大学） 鎌田和宏（帝京大学）

[趣旨]

学習指導要領案には、教育課程の改善に向けた各学校の特色を生かしたカリキュラム・マネジメントが求められています。長年にわたり「しごと」学習や問題解決学習に取り組んできた、学習研究連盟および社会科の初志をつらぬく会では大単元展開での学習を行ってきましたが、それはカリキュラム・マネジメントを行いながらの取り組みでもあります。2つの民間教育団体の実践を検討することを通して、社会科にどのようにカリキュラム・マネジメントを位置付けるかについて考えます。

IV 東日本大震災の経験をどのように授業に活かすか

コーディネーター 初澤敏生（福島大学） 池 俊介（早稲田大学）

[趣旨]

東日本大震災から6年が経過した現在、震災の経験や被災地の実態を踏まえた社会科授業のあり方が問われています。昨年度の課題研究では、被災地の現状報告とそれに基づいた授業実践について検討しました。しかし、被災地の学校と被災地以外の学校とでは授業で取り上げるべき内容や視点が異なります。今年度は被災地以外の学校を中心に震災に関わる授業実践をご報告いただいた上で、震災の経験をどのように社会科の授業に活かすべきかについて、議論を深めたいと思います。

V ICTを活用できる社会科教員の養成

コーディネーター 大澤克美（東京学芸大学） 谷田部玲生（桐蔭横浜大学）

[趣旨]

平成28年12月に「デジタル教科書」の位置付けに関する検討会議の最終まとめが出ました。また、平成28年11月からは学校におけるICT環境整備の在り方に関する有識者会議で議論が進められています。教育現場では、次期学習指導要領に向けてICT環境等が加速度的に整備されつつあります。

こうした中で、社会科の目標を確実に達成するために、ICTを活用できる教員の養成が求められます。ICTを活用した社会科授業ができる教員を大学でどのように養成するか、検討したいと思います。

10. 大会参加の申し込みについて

(1) 参加費

①大会参加費

一般会員 : 3,000 円 (事前登録) 3,500 円 (当日受付)
学生・院生会員 : 2,500 円 (事前登録) 3,000 円 (当日受付)
非会員 : 3,500 円 (事前登録・当日受付)

②懇親会参加費

会員・非会員 : 4,500 円 (事前登録) 5,500 円 (当日受付)

③弁当代

第1日目のみまたは第2日目のみ : 800 円 (事前登録) 両日 : 1,600 円 (事前登録)

【振り込み先】 ゆうちょ銀行

口座記号番号 00280-1-138146

口座名 日社学67回実行委員会

(2) 大会参加、懇親会参加及び弁当の事前登録について

【締め切り】 2017年8月31日(木)

参加の申し込みおよび参加費の振り込みの両方が完了した時点で事前登録完了となります。弁当は事前登録が完了していない場合、ご用意できません。

①大会への参加等は、本学会 HP のリンク【大会参加（事前登録）申込フォーム】からお申し込みください。

日本社会科教育学会 HP <http://socialstudies.jp/ja/index.html>

【大会参加（事前登録）申込フォーム】

https://www.ics-com.biz/well_form/jass67chiba/entries/add/1

②大会参加申し込み完了後、受け付け確認メールにて**参加申込受付番号**が自動送信されます。自動送信メールを受信されない場合、大会事務局まで直接お問い合わせください。

③大会参加費、懇親会費および弁当代の振込用紙（事前登録専用）を同封いたします。**参加申込受付番号**をご記入の上振り込みをお願いいたします。振り込みの締め切りは、8月31日(木)です。

④第1日目の受付は混雑が予想されます。当日の受付の混雑を緩和するため、可能な限り、事前登録をお願いいたします。

⑤事前登録を完了された方の参加のキャンセルは、2017年9月7日(木)の13時まで受け付けます。8月31日(木)までは、事前登録の自動返信メールに記載されている「編集・キャンセル画面のURL」よりご自身でキャンセル手続きをお願いいたします。9月1日(金)～9月7日(木)の間に参加をキャンセルされる場合は、大会実行委員会までご連絡ください。

⑥事前登録をされる場合、緊急時の連絡先メールアドレスをご登録ください。台風等による全国大会の中止等、緊急時の連絡をいたします。

⑦事前登録を完了された方が、大会に参加できなかった場合、後日、登録された住所に『大会発表論文集』を送付いたします。

11. 自由研究発表の申し込みについて

①自由研究発表の申し込みは会員に限ります。

②自由研究発表の申し込みは、本学会 HP の【自由研究発表申込フォーム】からのみ受け付けます。そ

の際、あらかじめ【大会参加（事前登録）申込フォーム】にて申し込み、参加申込受付番号を取得しておく必要があります。郵送あるいはFAX等での申し込みはできません。

【自由研究発表申込フォーム】 https://www.ics-com.biz/well_form/jass67chiba/entries/add/2

- ③自由研究発表の申し込み締め切りは **6月30日（金）の24時**です。
- ④自由研究発表の申し込み完了後、受け付け確認メール等が自動送信されます。自動送信メールを受信されない場合、大会事務局まで直接お問い合わせください。
- ⑤『大会発表論文集』の原稿提出等はすべて、本学会 HP の【大会発表論文集原稿アップロードフォーム】にて行います。メールの添付ファイルあるいはファクス等では受け付けません。

【大会発表論文集原稿アップロードフォーム】

https://www.ics-com.biz/well_form/jass67chiba/entries/add/3

- ⑥連名で自由研究発表を申し込まれる場合、会員の方が代表となり、【自由研究発表申込フォーム】にて申し込みをお願いします。その他の方は、全員、【大会参加（事前登録）申込フォーム】より参加申し込みをお願いします。
- ⑦『大会発表論文集』の原稿は、**8月10日（木）**が締め切りです。
- ⑧自由研究発表は、発表 20 分、質疑応答 10 分の計 30 分です。自由研究発表に関する詳細は、大会プログラム（2次案内、8月下旬発送および大会 HP に掲載予定）
- ⑨自由研究発表会場には、プロジェクター（RGB 接続）および DVD 再生機が標準装備されています。プロジェクターを使用される方は、ご自身のパソコンをご持参ください。その他の機材を希望される場合は、申し込み時に【使用機器欄】に入力願います。
- ⑩近年、本学会全国研究大会の自由研究発表本数が増え、自由研究発表の分科会編成が困難になってきています。自由研究発表の日時等の希望にはお応えできない場合があります。

12. 「関連行事」の参加申し込みについて

課題研究Ⅱ・Ⅴとの関連行事として、千葉大学教育学部附属中学校にて公開授業及び授業検討会を行います。ただし、教室の関係上、先着 30 名に限定させていただきます。参加希望者は、参加申込受付番号、氏名、所属をメールにてお知らせください。

「関連行事」参加申し込み先 jass67chiba@gmail.com

13. 会期中の昼食（弁当）について

千葉大学周辺にはコンビニ・飲食店はあまり多くありません。また、16日（土）・17日（日）ともに学内の食堂は営業していません。弁当は生協食堂にて受け取り、食堂内で召し上がれます。

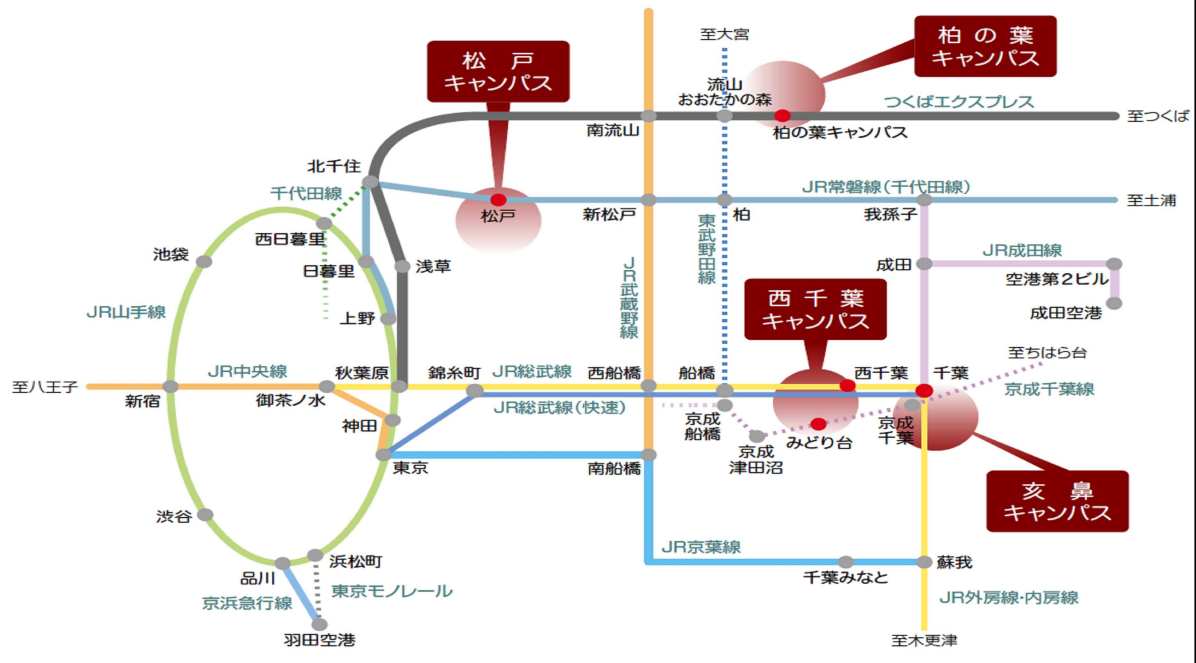
14. 宿泊の斡旋について

宿泊の斡旋は致しません。なお、大会期間は連休中になるため、東京都内及び千葉市内の宿泊施設の混雑が予想されます。各自でお早めに予約されることをおすすめいたします。

15. 全国研究大会参加時の保育費支援制度について

本学会では、男女共同参画の趣旨に則り、子どもを誰にも預けられず全国研究大会に参加できない会員の保育費を援助するため、全国研究大会参加時の保育費支援制度」があります。制度規定及び利用申請書は本学会 HP よりダウンロードし、本学会事務局に直接お申し込みください。

16. 会場（西千葉キャンパス）へのご案内



- 品川駅・東京駅から
 JR 総武線・横須賀線（快速） 「稲毛」駅で総武線（各駅停車）に乗換え、「西千葉」駅下車、徒歩2分（キャンパス南門）
- 新宿駅・秋葉原駅から
 JR 総武線（各駅停車） 「西千葉」駅下車、徒歩2分（キャンパス南門）
- 上野駅・日暮里駅から
 京成本線（特急） 「京成津田沼」駅で京成千葉線に乗換え「みどり台」駅下車、徒歩7分（キャンパス正門）
- 羽田空港から
 京浜急行線 「品川」駅でJR 総武線・横須賀線（快速）に乗換え、「稲毛」駅で総武線（各駅停車）に乗換え、「西千葉」駅下車、徒歩2分（キャンパス南門）
 東京モノレール JR 「浜松町」駅で山手線又は京浜東北線に乗換え、「東京」駅あるいは「秋葉原」駅経由で「西千葉」駅下車、徒歩2分（キャンパス南門）
- 成田空港から
 JR 成田線 「千葉」駅で総武線（各駅停車）に乗換え、「西千葉」駅下車、徒歩2分（キャンパス南門）
 京成本線（特急） 「京成津田沼」駅で京成千葉線に乗換え「みどり台」駅下車、徒歩7分（キャンパス正門）

16. お問い合わせ先

日本社会科教育学会第67回全国研究大会（千葉大会）実行委員会 戸田善治

〒263-8522 千葉市稲毛区弥生町1-33 千葉大学教育学部内

メールアドレス jass67chiba@gmail.com

※お問い合わせは、下記【お問い合わせフォーム】にてお願いいたします。

【お問い合わせフォームURL】 https://www.ics-com.biz/well_form/jass67chiba/entries/add/5。

日本社会科教育学会第67回全国研究大会 大会参加（事前登録）申し込み用紙

大会参加申し込みは、日本社会科教育学会 HP の【大会参加（事前登録）申込フォーム】より行ってください。ただし、学会 HP より参加申し込みができない方に限り、本用紙での郵送での参加申し込みを受け付けます。自由研究発表の申し込みは、大会 HP の【自由研究発表申込フォーム】からのみ受け付けます。

ふりがな 氏名		所属	
連絡先	住所 〒 E-mail TEL FAX (E-mail は台風等による全国大会の中止等、緊急時の連絡をいたします。)		
懇親会	参加 ・ 不参加 (どちらかに○をおつけください)		
弁当	不要 ・ 16日(土)必要 ・ 17日(日)必要 (該当するものに○をおつけください)		
問い合わせ	出張依頼状が必要な場合、依頼先の住所、氏名、職名等をご記入ください。		

○大会参加（事前登録）申し込み締め切り

2017（平成 29）年 8 月 31 日（木） 必着

大会参加申し込みおよび参加費の振り込みの両方が済んだ時点で、事前登録完了となります。

○郵送先

〒 263-8522 千葉市稲毛区弥生町 1-33 千葉大学教育学部内

日本社会科教育学会第 67 回全国研究大会（千葉大会）実行委員会 宛

